



# 千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第14号

令和4年12月23日発行  
千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

## ◆令和4年の終わりにあたり◆

校長 山口 鉄也

今年も余すところ、あとわずかになり、何かと慌ただしさや気ぜわしさを感じる時期となりました。保護者の皆様方には、常日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。冬季休業前にあたり、12月の全校集会で生徒に話したこと、また、各学年の代表生徒のことはお伝えいたします。

## 校長より

後期始業式以降も、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、様々な行事を延期することなく行い、それぞれ、成果もあげることができました。これは、先生方の指導、皆さんの自覚、そして各ご家庭の協力があればこそだと考えています。ただ、第8波がきているといわれています。引き続き、必要な対策はしていきながら、生活を充実できるようにしていきましょう。

さて、明日からは冬休みです。今年は13日という長期の休みになります。学校生活から離れ、ゆっくりする時間を大事にしてください。そして、「1年の計は元旦にあり」という言葉もあります。新しい年を迎えるにあたり、これまでを振り返りつつ、何か目標を持っていただきたいと思います。ここで、私の好きなフレーズを紹介します。「人は振り返ることができる。振り返ることができれば目標が変わる。目標が変われば行動が変わる。行動が変われば結果が変わる。」冬休みが明けるとき、「自分はこれを頑張る」と希望を持てるようであってほしいと思います。

新春が、ご家族の皆様にとって夢と希望に満ちあふれていることを心から願っております。良い年をお迎えください。

## ◆年末を迎えるにあたり、各学年代表生徒のことは◆

中学校に入学してから約9か月が経ちました。私にとってこの9か月間は短く、あっという間に過ぎたように感じます。とても短い9か月間でしたが、たくさんの経験や思い出が詰まった時間でした。4月に吹奏楽部に入部し、すぐに夏休みのコンクールに向けての練習が始まりました。毎日パート練習や合奏でたくさんの練習を重ね、コンクール当日は今までやってきたことをすべて出し切った演奏をすることができました。また、後期から生徒会執行部としての活動が始まり、様々な行事の企画や運営を行ってきました。初めて生徒会室に入ったときは少し緊張してしまい、最初のころはなかなか慣れることができませんでした。生徒会執行部として初めて運営を行った貝塚祭では、自分のクラスのピアノ伴奏を担当しながら事前準備の打ち合わせを何度も行ったり、当日アナウンスや片付けで動くことが多かったりして、とても大変でした。しかし、その仕事を全てやり切った時、達成感を感じ、執行部の仕事にやりがいを感じるすることができました。大変だと思うことも何度もありましたが、そんな時はいつも先輩方が支えてくださいました。部活の先輩、執行部の先輩、たくさんの先輩に支えていただいて、一人では乗り越えられないことも乗り越えることができました。あと3か月で1年生も終わり、私も先輩の立場となります。残りの3か月間でもっと成長して、私を支えてくださった先輩方のようになれるよう努力していきたいです。

1年生代表（1年6組）

この1年間を振り返ってまず思ったことは、とてもプレッシャーを感じた一年だったということです。2年生になり、色々な初めてがありました。まず、初めてのクラス替え。そして部活に後輩ができました。私は、初めて学年会長になりました。全てが初めてのことで、不安とプレッシャーを感じていました。クラスに馴染めるのか、部活動でしっかりと先輩としてやれるかなど、本当に不安でした。しかし、今ではそんな不安はありません。今、思えば、色々な人に支えていただいた一年でした。

委員会活動について振り返ると、学年全体が1年生の時とは違い、委員会に対する意識が高まってきたと思います。各委員会の特定の人だけが仕事をするのではなく、しっかりと一人ずつ役割分担をし仕事をしています。実際私が所属している学年生徒会では、みんなが責任を持ち、話し合いに参加しています。毎回、各クラスや学年の反省点や改善案を話し合っています。2年生の課題は、2分前着席やメリハリ、切り替えです。この課題は、一人一人が意識することで少しでも良くなっていくと思います。

最後に、私たちはもう残り数か月で3年生になります。私は、この学年を、2分前着席などはもちろん、基本的なことができる学年にしていきたいと思っています。そのため、改善案などをこれからも考えていきたいと思っています。

2年生代表（2年4組）

クリスマスの日まで2日となりました。今年はみなさんの家にもサンタさんは来るでしょうか。さて、2022年ももうすぐで終わりにしようとしています。今年は充実していましたか。やりたいことはできましたか。こうしておけばよかった…と思う点があれば次に生かしましょう。次にリベンジしようと、ふと思うことがあるなら、思ったことをそのまま脳内に記憶…というのはなかなか難しいと思います。人は何かと忘れる生き物です。忘れることを防ぐためにも、メモに書いておくことをお勧めします。スマートフォンを持っている人は、そこに書いておくこともよいでしょう。その少しずつの努力が、未来の自分を作っていきます。冬休みは、クリスマスやお正月などたくさんのイベントがあります。ぜひ友達や家族と楽しみましょう。それと同時に周りの人への感謝の気持ちは忘れないようにしましょう。言葉にできなくても自分のできることをやってみることが大切です。いつか巡り巡って自分に返ってくることを期待しましょう。楽しむこともとても大事ですが、勉強もとても大事です。なぜなら未来の自分に対する投資だからです。今までの内容でダメだった所は見直しを心掛け、苦手を克服させる勢いでいきましょう。そして、我々3年生はもうすぐ受験です。冬休み中に勉強をしていなければ、どんどんと周りの人との差がついてしまいます。周りの人以上に成長するためにも自分で考えて行動しましょう。2023年の桜を見る自分は、第一志望に受かった自分、もしくは第一志望に不合格になった自分、どちらがみなさんにとって良いですか？もちろん前者の方が良いと思います。これからの人生を突き進むためにもみんなで頑張りましょう。そして受験が終わった後は友達と思いっきり遊びましょう、と、ここで声を大きくして言いたいところですが、その前に卒業があります。どのような姿で卒業をしていきたいか。そのために残りの中学校生活を心掛けることは自分にとってなんですか？自分の人生は自分で決めてください。自分にとっての一番良い選択肢があるはずです。残りの学校生活を楽しんで、悔いのないようにしましょう。

3年生代表（3年1組）